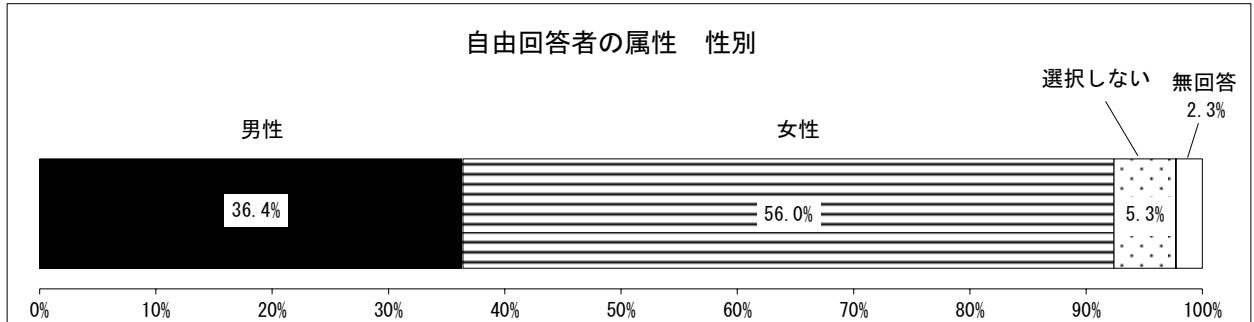


自由回答・「その他」の回答について

12. 自由回答・「その他」の回答について

(1) 自由回答について

この自由回答に何らかの意見等を記入した人は 132 人。本調査の有効回答者数の 18.4%にあたる。以下にその主な内容を示す。



—要望・提言に関するもの—

①教育

- ・将来的に、差別に関する学習や差別という概念を認知することを必要としない社会になればいい。
- ・人権は家族間の中にも大いに必要だと思う。
- ・個々の考え方や感じ方がもっと尊重される社会になってほしい。
- ・人権が尊重されるために、まずは「人権」について普段から考える時間を設けることが必要。
- ・差別をなくすためには、一人一人の内面を充実させて判断できる状態にすることが大切。
- ・幼ない時から学ぶ環境づくりが重要だと思う。家庭で、学校で、社会で一人一人が学び知識を得て、その知識を行動につなげていくようにすべきだ。
- ・日本人は思いやりのある人が美德とされるので本音を言えず、そのうっぶんがインターネットなどの人を傷つける書き込みになっているように思う。
- ・幼い時から、一人一人の個性を大切にすると、他の人を受け入れられるのではないかと思う。
- ・学校での人権教育を基盤とし、人権侵害を法律で取り締まれば、ある程度は人権が守れるのではないだろうか。
- ・学校教育で同和問題を教えるのはどうかと思う。学習するから差別が生じるのだと思う。
- ・本人同士が安心してつき合えるのならば、全てにおいて平等に人間関係を育てていけると思う。
- ・人権問題は自分とかかわる問題だと思えるような話し合いができる場が必要。
- ・人間形成においては特に教育の充実が不可欠である。

②行政

- ・議会制民主主義における議員とは国民の代表であって、外国籍の人に参政権を付与するのは民主主義の主旨に反するため反対であるが、それは「差別」ではない。
- ・御所市では生きるためのサポートが全くない。若い人たちに住んでほしいならしっかりサポートすべき。
- ・行政が市民の意見を尊重して長期的な見通しの施策を実行していく必要がある。
- ・しっかり働いて生活している人の人権も尊重するべきだ。
- ・ネット関係の問題にしっかりと取り組み、早期に改善するべき。
- ・人権に関する様々な問題を行政が管理・規制するのではなく、支援を手厚くすることが重要。

- ・御所市の家賃は収入で決まるので、収入が多くなるようにがんばって働いても、支払いが多く生活が苦しい。改善してほしい。
- ・御所市の問題は、同和対策への過剰な費用支出による財政逼迫。にもかかわらず、産業なし、魅力なし、交通不便では、正に限界の町。
- ・人権問題、同和問題をメディア、SNSなどで発信しつづけていくことが大事だと思う。
- ・差別やいじめに関して真正面から向き合い、真剣に取り組んでほしい。
- ・人権尊重はモラルの問題だと思う。
- ・この意識調査で、自分の思いや考えを確認させられ、自分の意識に矛盾があることもわかった。答えるのに迷ったり難しかったが、集計をしっかりとしてほしい。
- ・だれもが参加しやすい学習・講習を実施してほしい。
- ・市民が気持ちよく納税できるよう、生活保護の制度修正を。
- ・「部落史の見直し」などから多様な考えを聞けるようなシンポジウムなどを行ってほしい。
- ・人権問題よりも御所市全体のことを考えていただきたい。
- ・まず隣り近所、自治会内から考え、意識改革して全員参加できるような取組みを望む。

③市民

- ・生きづらい社会の中で、いろんな地区の人たちとかかわることや、いろんな国の人たちを雇っていることは良いことだと思うし、お互いに知っていくこともよい経験だと思う。
- ・地域社会の古い考え方やしきたりなどによって御所に住みたいと思う気持ちがなくなる。
- ・当事者の立場や心情に立って個々の、その人自身と関わるのが大切。そこに対等性があれば差別という概念自体がなくなっていくと思う。
- ・部落差別については主に家庭で受け継がれて教えられているため、いくら学校などで学習してもなかなか解決しないと思う。
- ・相手に対して、その背景などに思いをめぐらすことのできる社会が必要だと思う。
- ・口先だけで「差別はダメ」とか「人権を尊重しよう」と言っても、心からその事を実感しないと差別はなくならないと思う。
- ・常に心がけていることは、相手の立場に立った言動をするということ。
- ・子どもの意見を第一に聞いてやるべきだと思う。
- ・自分を正していくこと、自分を変える努力が大切。
- ・一部の役員だけが勉強するのではなく多くの市民が勉強する必要がある。人権に対する問題は、これからも末長く活動して市民全体が解決に向けて努力することが大切。

ー批判・不満ー

- ・御所市は特に同和問題を取りあげすぎるので、変なイメージがついて、来る人も少ないし、御所市出身というだけで、引いて見られる気がする。
- ・権利は義務を果たした人しか主張できないもの。行政は声の小さな人にしか対応しない。市民が変わる前に御所市役所が変わるべき。
- ・部落問題よりもっと大きな人権に関する問題が山積している。
- ・行政が同和地区の方々を差別して特別扱いしているようにしか思えない。
- ・現代社会においては偏差値が教育の主眼になっていて、「人格の完成」などということは眼中になく、現状ではどのようにしても人権に関する問題はなくならないと思う。

—自分のことに関するもの—

- ・差別がなくなって、誰もが住みやすい世の中になるよう自分が出来ることをしたい。
- ・豊かな人権感覚を身に付けている人間が素敵だという価値観を、自分の信条にしていきたい。
- ・みんなが産まれた土地や場所を気にしなくてもいい時代がくればいい。
- ・自分自身を認め、自尊感情が高まるような子育てができると、自分も大事、相手も大事という、お互いの人権が大切にされるかもしれない。
- ・自分が差別や人権侵害を絶対しないのかと問われると、断言できるのか自信がない。
- ・ふつうに年令を重ねただけの人間でも、差別されることは起こり得る。いじめもそう。
「人権とは、何」とあらためて思う。
- ・心から本音で意見交換の出来る日が来ることを待ち望む。
- ・自分が行った過去の部落差別発言を思い出す度に悔やまれる。
- ・人権が尊重される社会実現のための施策は、時代が変わっても強く願っている。

(2) 各設問の「その他」の主な内容について

問1 日常生活の感じ方について

- ・交通の便が悪く通勤・通学しにくい
- ・遊べるスポットがない
- ・通院等、高齢者が住みにくい町
- ・車が必要で一人暮らしは困る
- ・店が少ない、車でいかないと買えない
- ・閉鎖的な印象
- ・商店に華やかさが少ない
- ・権利意識が強くなり、反対に義務感、所属意識が薄くなっている
- ・住所表示が数字だけの所があり、大変不便、残念
- ・子どもたちが自由にスポーツできる場所がない
- ・税等公的支出が他市に比して高く感じる
- ・家の付近の道には歩道がなく、危ない
- ・弁護士に相談しても全く相手にされていない
- ・ものすごく大きな音が鳴っていてもみんなは知らん顔をしている
- ・周りの目が気になる
- ・空き屋が増えて、歩道に草が伸びて歩くのが危ない
- ・個性的な人が多く、びっくりする事が多い
- ・御所図書館には古い書物が多い
- ・レストラン、カフェなどが少ない
- ・公共施設が少ない
- ・他市町村からの入札参加
- ・安全にジョギングできる場がない
- ・過去から現在に至るまでの行政の取組みは問題で、将来の希望がもてない
- ・行事が多い
- ・不妊治療への支援が不十分
- ・財政の健全化も人権問題を解決に向けて推進するための重要な課題のひとつである
- ・蚊が多い、重機の音などの騒音が気になる。ゴミを燃やす煙などの環境にも問題がある。村役員の村の私物化等々の問題
- ・自治会に入っていないという理由で、資源ゴミ&古紙の収集のサービスが受けられない
- ・自治会行事への参加強制、寄付の強要
- ・利用者が少ないせいか電車代が高い
- ・整備に地域格差がある
- ・町の掃除も高齢になると出て来ない、出て来ても掃除しない
- ・子どもの行事に参加した時の保護者の態度などが悪い
- ・社会に対し感謝の心がない
- ・高齢のため他の人とふれあう事がない
- ・病院が少ない
- ・自治会館のない所が多い。いこいの場がない
- ・施設（図書館や病院）は少ないし、あったとしても規模が小さい
- ・図書館で勉強（自習）出来る場所がない

- ・税金が高い
- ・生きて行くのに精一杯
- ・駅の使いかたが不便
- ・ポイ捨てが多い
- ・少子高齢化の進展

問6 人権問題に関する学習媒体

- ・学習した事がないので分からない
- ・人権問題に興味なし
- ・利用しない
- ・学習しない
- ・周囲の人間
- ・友人
- ・家族
- ・P. T. A
- ・お年寄り達との会話

問10-2 人権侵害の理由

- ・年齢により賃金を下げられた
- ・地区外出身
- ・認知症

(人権侵害の内容)

- ・夫からのモラルハラスメント
- ・役立たずと言われた
- ・生活権の侵害
- ・職場でのパワハラ

問10-3 人権侵害への対応

- ・上司なので何も言えない
- ・話を聞いてもらい、相手の言い分も受けとめ、その相手と円滑にコミュニケーションが図れるよう努力した

問10-4 人権侵害への対応

- ・聞きながすが不快に思っている
- ・自分より下の人間として見るようにする
- ・仕事が覚えられないことが悪いから、責められても仕方がないと思う

問10-5 人権侵害の相談相手

- ・医師

問13 友人の同和地区に対する差別的な発言への対応

- ・最近では逆差別が問題である

- ・真意を聞く
- ・相手の意見も聞き、自分も主張もする
- ・表向きは話をあわせ、他の話題に変える
- ・少しだけ感じたままに、その事について話をする
- ・話の内容による
- ・同和地区に対する差別的な発言に興味がないのでどうでもいい
- ・そのような言葉は後で忠告する
- ・話の内容によって話し合う
- ・自分は同和地区の人間だが、あなたに迷惑をかけたことはない、と言って以降連絡は取らない
- ・なぜそんな事を言うのか理由を聞き詰める
- ・その時は何も言えないと思う。よく考えて言える友人なら言う

問 15 インターネット上の差別的な書き込みへの改善策

- ・15歳以下はインターネットを禁止すべき
- ・各自が情報に踊らされることのないよう、慎重に対応すべき。インターネットをすべて正しいと思い込まず、逆に疑うくらいの目線をもつことが大切
- ・極端な行動に出そうなら行政に、被害を受けた人が自分で気付いたなら、自分で動く
- ・管理者や責任者等の管理、沢山の人が気を付けて見守れば良いと思う
- ・差別的発言の裏返しは自身の弱さ
- ・書き込んでいる人が誰かを分かるようにする
- ・ケースバイケースで対応する
- ・何もできない
- ・個人情報なんて全て漏れてるから何やってもムダ
- ・現行法で当事者を処罰する
- ・ネットの書き込みが自由にできる以上抑制するのは難しい。ムシするのが一番いい
- ・小学校から、「こんな事をすると、こうなるという事例」を分かりやすく教え込む(NHK でやってた「フエイクニュース」のような事例)

問 18 人権が尊重される社会の実現のために必要な取り組み

- ・祖先を敬い手を合わせる習慣をつける、親孝行する。人が人をつくり、心を育てる地域をつくる
- ・なにもしないことが大切
- ・個人情報に邪魔でどこまで介入してよいか難しい
- ・個々が自覚しなくてはいけない
- ・何も出来ない
- ・宗教の話をきく
- ・地区・地区外（は、ほとんど関係ない）ではなく、個人の人間性にかかわってくると思う
- ・人と人とのつきあい
- ・どんな人でも平等に仕事につければ差別なしの社会と言える
- ・特定の職場に従事する人の人権を守るため、社会的地位を向上させる
- ・人権の取り組みを支援する専門職員の育成。人権問題を楽しく語れる専門職員の育成
家庭教育と地域での講演会や研修会をつなぐ
- ・個人個人がいろんな書籍・文化に触れて見識を広げる